

停電時における電話機/FAXの対応について

ーCIAJアンケート調査より一

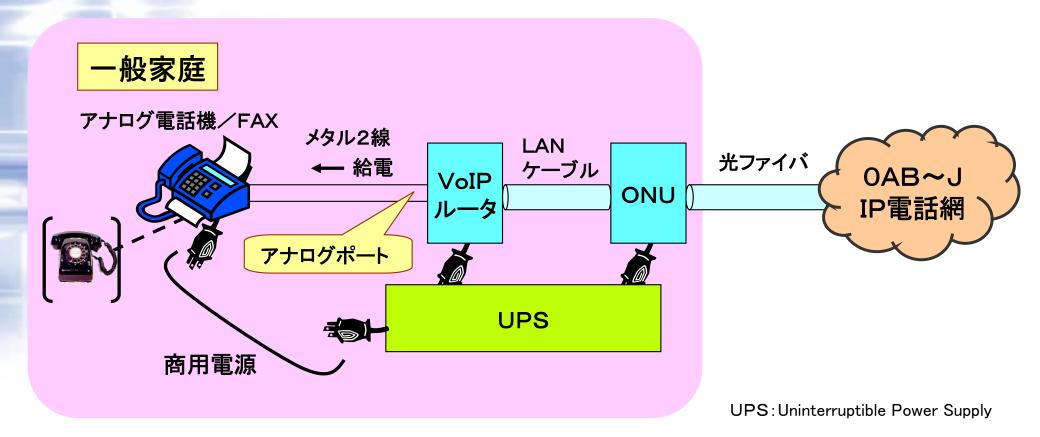
2007年12月21日

情報通信ネットワーク産業協会

アンケート調査における接続構成



- □ 一般家庭での現状のOAB~J IP電話サービスでは、VoIPルータにアナログ電話機/FAXを接続する構成が一般的である。
- □ 本接続構成において、ONUおよびVoIPルータは、無停電電源装置(UPS)による 停電対策を行ない、アナログ電話機/FAXは、停電時にVoIPルータから局給電 相当の給電を受けるケースでの発着信動作をアンケート調査



アンケート調査項目



項目	調査内容				
調査対象電話機/FAX	□下記8タイプの電話機/FAXを対象 (1)乾電池/充電式電池を内臓していないタイプ ・単機能電話機 ・留守番機能付き電話機 ・FAX、留守番機能付き電話機 ・ハンドセット付きFAX (2)乾電池/充電式電池内臓タイプ ・単機能電話機 ・留守番機能付き電話機 ・FAX、留守番機能付き電話機 ・FAX、留守番機能付き電話機				
調査項目	□上記8タイプの電話機/FAXについて、停電時に下記動作を行う機種系列およびメーカ内の販売比率 ◎停電時の動作状態 ・電話機本体のハンドセットで発着信が可能 ・電話機本体のハンドセットで発信のみ可能 ・電話機本体のハンドセットで着信のみ可能 ・電話機本体のハンドセットで着信のみ可能 ・外部に黒電話タイプを接続すれば、発着信が可能 ・停電時はUPSでのバックアップ				
調査メーカ	□コンシューマ向け電話機を販売しているCIAJ会員6社				
調査実施期間	□平成19年12月13日~12月19日				

アンケート調査のまとめ



- □ 電話機の停電時の対応は、局給電相当の給電で発着信が可能な機種が多いが、電話機の 多様化・高機能化で、UPSのバックアップによって発着信が可能となる機種もある。
- □ FAXの停電時の対応は、UPSのバックアップによって発着信が可能。
- □ 電話機に内蔵している乾電池・充電式電池は、データバックアップ・時計バックアップの用途 に使用されている。

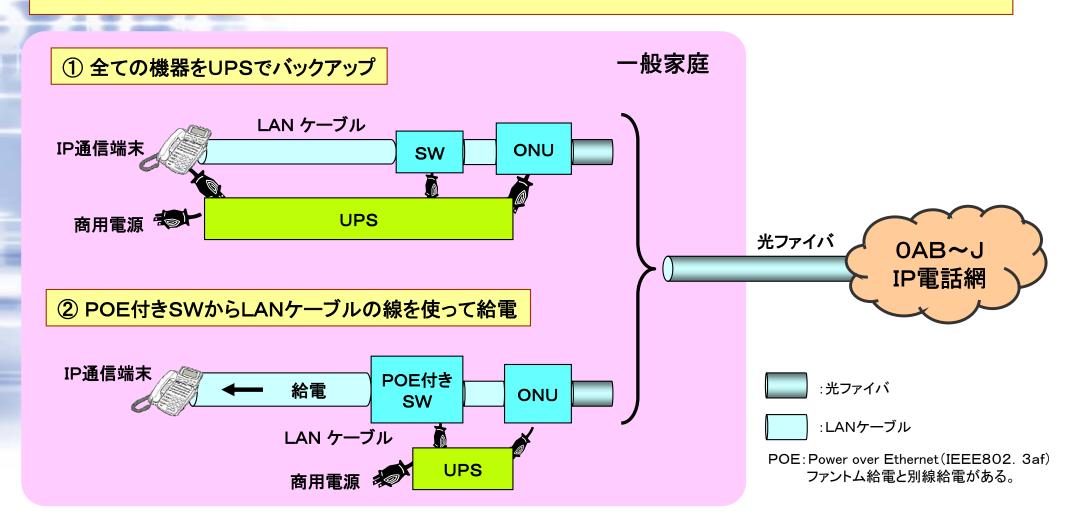
停電時の対応	単機能電話機	・留守番機能付き電話機 ・FAX、留守番機能付き 電話機	ハンドセット付きFAX
UPSのバックアップ	0	0	0
局給電相当の 給電	0	注	×

注:一部の機種は、対応していない

IP通信端末における停電時の対応について



- □ IP通信端末での停電時の対応としては、UPSによるバックアップやIEEEで標準化されたPOEによるバックアップが考えられる。
- □ また、IP通信端末以外の情報家電、パソコン、スイッチなどのホームネットワーク機器などの停電時の対応についても、UPSによるバックアップが考えられる。



参考資料:アンケート調査詳細



□乾電池・充電式電池を内臓していないタイプ(5メーカ 136機種)

●各メーカの停電時の対応状況は下記の通り。

	7 04	局給電相当の給電で発着信が可能				停電時はUPSのバックアップ によって発着信が可能	
メーカ		本体ハンドセットで可能		外部に黒電話タイプを接続して可能			
	-9	機種数	社内販売比率	機種数	社内販売比率	機種数	社内販売比率
Ξ	A社	1	73%	_	_	_	_
	C社	9	30%	7	51%	8(8)	19%
ī	D社	30	37%	_	_	58(3)	63%
	E社	7	50%	-	_	9(5)	50%
	F社	_	_	_	_	7	100%
	合計	47	_	7	_	82(16)	_

電話機

FAXと一部の電話機

()内は電話機 再掲

□乾電池・充電式電池内臓タイプ(2メーカ 47機種)

●2メーカで販売しているが、内臓電池を通話バックアップ用には使用していない。

A社:

⇒局給電相当の給電で、電話機本体のハンドセットで発着信可能:1機種、社内販売比率27%

B社:

- ⇒外部に黒電話タイプを接続すれば、局給電相当の給電で発着信可能:25機種、社内販売比率39%
- ⇒UPSのバックアップによって発着信可能:21機種、販売比率61%